

こどもまんなか応援サポーター宣言式典次第

令和8（2026）年9月6日（日）9:30～9:45

箕輪町文化センターホール

- 1 開会
- 2 趣旨説明
- 3 町長あいさつ
- 4 こどもまんなかの取組みの紹介（映像）
- 5 こどもまんなか応援サポーター宣言
- 6 記念撮影
- 7 閉会

【記念品提供企業・団体】本日の式典に際し、参加記念品を提供いただきました。

- ・箕輪町商工会 様
- ・みのわこどもフェスタ実行委員会 様
- ・(株)ローカルライフ 様

【こどもまんなか応援サポーターとは】

こどもたちのために何がもっともよいことを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組んでいただける個人、団体・企業、自治体等を、「こどもまんなか応援サポーター」と呼んでいます。

特別な資格は必要ありません。日常業務や生活の中でできる、ちょっとした配慮や思いやりが「こどもまんなかアクション」です。それぞれの皆様にできるアクションをぜひお願いいたします。

【登録サポーターの取組み（抜粋）】

- ・キッズスペースやこどもの居場所、安心して過ごせる場所（クールスポット等）の設置
- ・ベビーカーで入ることが出来、おむつ替えも出来るトイレあり
- ・通学路やグラウンドの草刈り
- ・子育て世代向けの割引サービス
- ・店内バリアフリー、子ども用のイス・食器・おもちゃを用意、離乳食の持込み OK
- ・子育て世代のお悩み相談
- ・イベントや各種まちづくり事業などを通じた箕輪町の将来を担うこどもたちの育成
- ・従業員が子育てしやすい職場環境の整備
- ・お仕事体験を通じて子どもたちの好きを見つけるお手伝い
- ・こどもの居場所や各学校で行われている、ふるさとルームなどの活動に参加
- ・公民館等を使ったこどもの居場所と多世代交流の場（こども食堂等）
- ・学校に通うのが辛いと感じていたり、通えなかったりしているお子さんが安心して自分らしく過ごすことができる居場所づくり
- ・こどもが「やりたい企画」を実施するためのサポート
- ・えほん読み聞かせ
- ・子育て中ママの声の傾聴
- ・ファミリーサポートまかせて会員

- ・こども食堂で提供するカレーライスの食材となる食用油、スパイス類、野菜類、ハーブ類、穀類などを農場で栽培し、それらの食材を使い、こども食堂などでカレーライスを調理、提供
- ・種から作るカレーライスを通じ、食育にも通ずる取組み
- ・おもちゃ図書館の取組み
- ・災害大国と言われる日本で生きていく上で、地震や風災害から生き残るための精神的・物的な備えは当然必要である、ということ子どもたちに頭と心で理解してもらい、実際に災害に見舞われた時に、たくましい自助力で災害を乗り越えられるようにする意識啓発
- ・小学生のお子さんがある職員に対して時短勤務や特別休暇制度の導入
- ・子育て中の家族の心配事を聞き解決に向けた方策をアドバイス
- ・地区の子ども達の楽しい事や、交流作りのお手伝い
- ・地区での「春休み子どもお楽しみ会」・「みのわ祭り踊り連」等の運営
- ・こども達の登下校時における見守りと挨拶
- ・こども達にとって危険な場所の改善
- ・地域の協力者と共にこどもの暮らしや学習のサポートに取り組む
- ・こどもの居場所活動者のネットワークづくりや、活動の普及に取り組む

【こどもまんなか応援サポーター】

登録計 31 者（団体・企業：24 者 個人：7 人）

○登録団体・企業一覧（団体・企業のみ・五十音順／敬称略）

団体・企業名	団体・企業名
(有)油屋商店	Cafe さんぽ日和
上伊那医療生活協同組合	きたっこベース
Go West かみふるた	コモリ理容室
ちとせや薬局	長野県信用組合 箕輪支店
南小河内区議会	南小河内見守り隊
みのわこどもフェスタ実行委員会	みのわ腹話術研究会
みのわ BOSAI ネットワーク	箕輪町
箕輪町教育委員会	箕輪町郷土博物館
箕輪町社会福祉協議会	箕輪町商工会
箕輪町民生委員児童委員協議会	みんなの基地
森の憩い基地倶楽部	有限会社柳屋薬局 ライフ薬局
レシピの農場	株式会社ローカルライフ

※参考 HP

【①こどもまんなか応援サポーター宣言ページ】

https://www.town.minowa.lg.jp/soshiki/kodomo_mirai/gyomu/2/9379.html



【②こども・若者向けページ（こどもレター・こどもの居場所・こどもの悩みごとほか）】

https://www.town.minowa.lg.jp/soshiki/kodomo_mirai/gyomu/kodomowakamonopage/index.html



箕輪町

こどもまんなか

応援サポーター宣言

【基本理念】

すべてのこども・若者が 心も体も 幸せに暮らす
こどもまんなかのまち

【宣言】

- 私たちは、どんな場所でもこどもの権利が守られ、こども達の笑顔があふれるまちを目指します。
- こどもや子育て当事者の声により一層耳を傾け、その権利や意見について、地域全体で共有を図っていきます。
- 行政・地域・住民・事業者・関係機関などさまざまな主体の連携・協働による活動を通して、こどもの安全を守り、安心を提供していきます。
- こども一人ひとりの可能性や力を信じて見守り、支援するとともに、大人があるべき姿を見せることで、こどもと大人が信頼し合える関係を築いていきます。
- 子育て当事者が孤立しないよう、悩みや不安を気軽に相談でき、多くの人や地域と関わることをできる交流を通して、地域全体も活性化していくまちを目指します。

本日ここに、「こどもまんなか応援サポーター」として
取り組むことを宣言します。

令和8年(2026年)9月6日



箕輪町イメージキャラクター
もみじちゃん

こどもまんなか

『こどもまんなか社会』とは、すべてのこどもが幸せに暮らせるよう、常に「こどもたちのために何が最もよいことか」を考え、政策や活動に活かすことができる社会のことです。

こどもまんなか社会を推進するため、何よりも大切にするのは、こどもの意見です。こどもの意見を聞いて、その声を大切にして、こどもにとって最もよいことを考えます。



こどもの思いや気持ち、聴けていますか？

町では、『こどもまんなか社会』の実現に向け、令和7年にこども計画を策定しました。計画策定の中で、小学生・中学生にアンケート調査を行いました。

■こどもにとって一番身近な相談相手は？

- ・小学生：母 87%・父 62%
- ・中学生：母 78%・父 48%

「困ったときに相談する相手」として保護者を選んでいきます

■相談できる人がいないと回答したこどももいます。

- ・小学生 約4%
- ・中学生 約6%

👉 表に出ていない悩みもあります

■こどもたちが感じている困りごとは？

- ・授業についていけない
- ・友だちとうまくいかない
- ・学校に行きづらい
- ・家族の関係に悩んでいる

少数ですが

- ・「家族と話す時間がない」
- ・「家に帰りたくない」
- ・「いつもおなかがすいている」
と感じている子もいます

～なぜ話を聴くことが大切なの？～

こどもは

- ✓ すぐに悩みを言葉にできない
- ✓ 何気ない会話の中で本音が出る

だからこそ
日常の中で「聴いてくれる人」が必要です

★★保護者のみなさんへ★★

家庭でこどもと話をしたりふれあう時間を持ちましょう

◆◆家庭でできること◆◆

- ・気持ちを受け止める
- ・ほめる・認める

こどもをまんなかに考えることから始めましょう



★箕輪町こども計画

https://www.town.minowa.lg.jp/soshiki/kodomo_mirai/gyomu/6/477.html

